

鶴永いくお

のせらわれ

淫らに咲き乱れる熟した肢体

誘われ  
毎  
女  
に

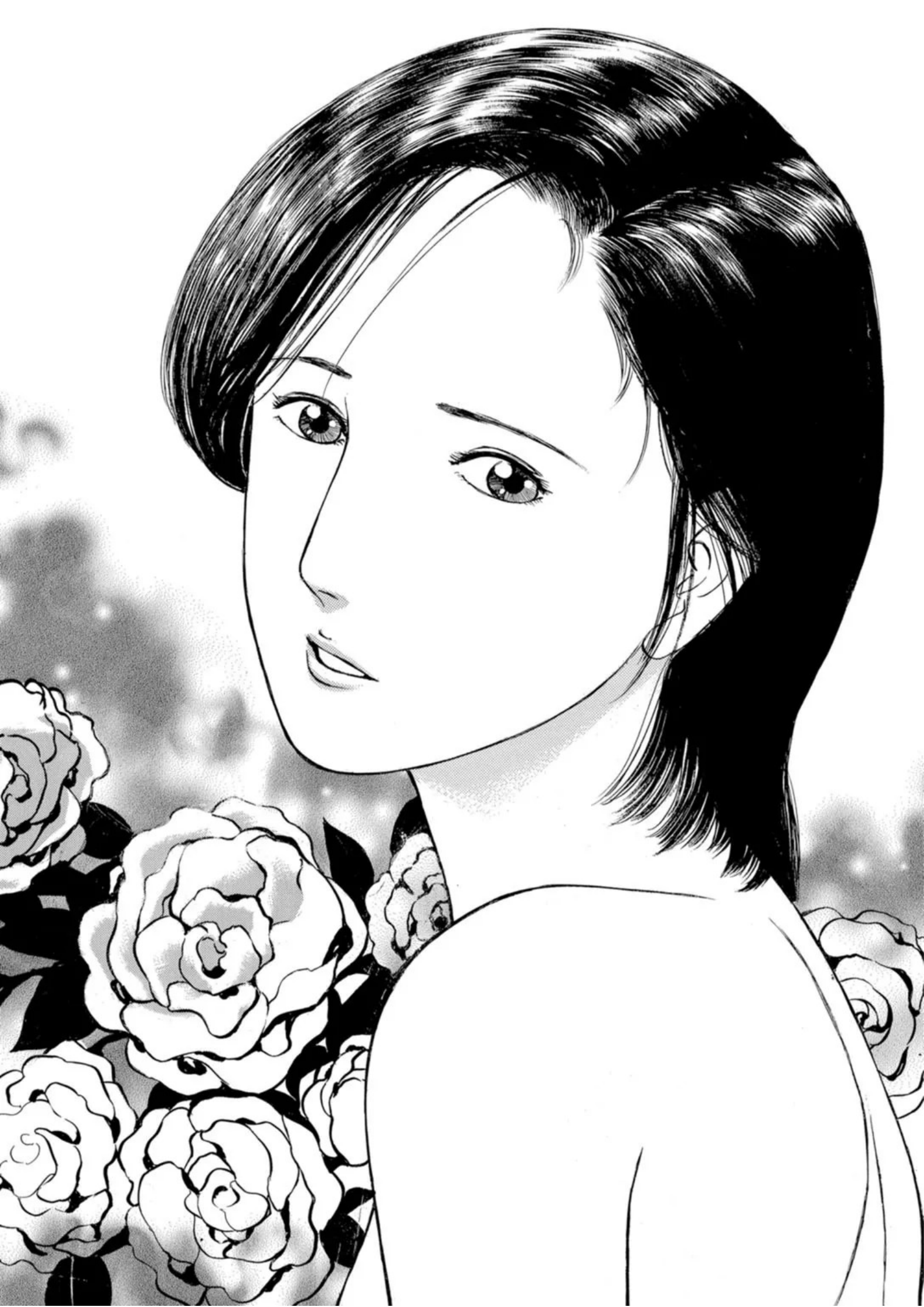


誘う人妻にのせられて

～淫らに咲き乱れる熟した肢体～

---

第1話







由里絵さんの  
夫は僕の  
伯父で……



ふっ

ふう

ふう

僕が由里絵さんの  
その姿を  
偶然覗き見た  
のは15歳の  
夏でした



その年の冬  
登山に行つたきり  
戻つてはきま  
せんでした

未亡人になつた  
由里絵さんは  
それから生花教室  
などをひらいて  
ひとり暮らして  
います



あら  
圭一郎くん  
ずいぶん背が  
伸びたわね



ほら わたしより  
顔半分ぐらい  
高くなった

由里絵さんの  
秘密を覗き見た  
日から3年



由里絵さんは  
いつも  
変わらず  
きれいで……



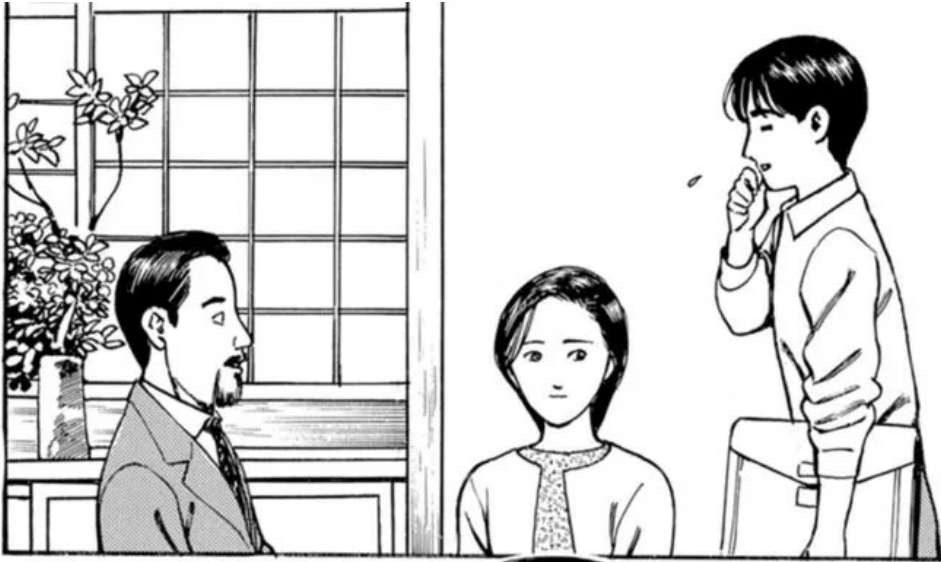
やあ  
圭一郎くん

おじやま  
しているよ



どうも  
こんにちは





柴原さんは  
伯父の大学時代  
からの登山仲間  
で……



本当です  
しとやかな雰囲気は  
昔のままだ



いやだわ  
柴原さん

そんなこと  
ありませんよ



しかし  
由里絵さんは  
いつも  
清らかで美しい



家じゃ 弟が  
うるさいからって  
主人の書齋で  
勉強するんです



圭一郎くんは  
よくここへ  
来るんですか



もう3年  
ですか



そういえば  
圭一郎くんは  
どことなく  
山内に似て  
きましたね



ええ  
ちよっと  
はにかみ屋  
のところ  
なんか

そうですか



由里絵さんは  
清らかで  
美しい



今日は  
由里絵さんの元気な  
顔が見れてよかった



柴原さん  
帰ったの

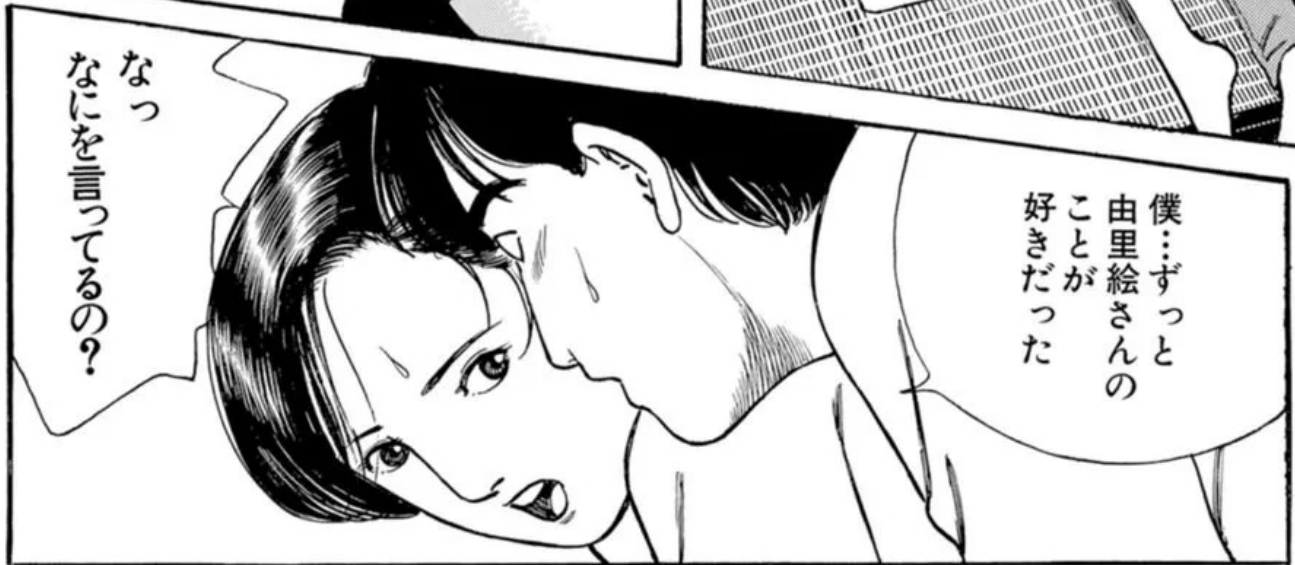




や…やめなさい  
なんの真似!?



グハッ



僕：ずっと  
由里絵さんの  
ことが  
好きだった

なっ  
なにを言ってるの？



僕は  
わかってるよ  
由里絵さんは  
清らかで  
しとやかなだけ  
じゃないって



由里絵さんの  
足……



ああ  
だっ  
だめ!!



はっ  
はっ

僕の手  
由里絵さん  
のお尻に  
じかに  
触れて  
いる



だから無理やりなんてできないよ

ただ見たいだけ本だよ



由里絵さんの裸が見たい



む：無理を言わないでわたしはあなたの伯父さんの妻なのよ



うそ

見たらそれ以上のことをしたくなるわきつと



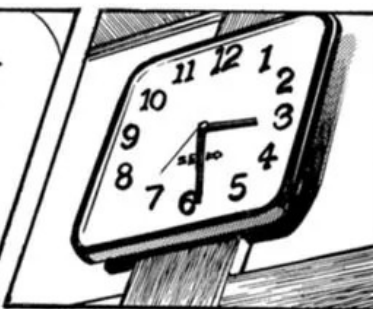
お風呂場に行きましょ

じゃあ…



約束する本だよ

なんなら手を縛ったってかまわないよ







手を  
どけて

あつ…足を  
開いてくれる



こっちを  
向いて



こっ  
この  
いい  
ので

はっ

はっ



ああ…  
圭一郎くん



見るだけ

本当に  
見るだけよ



僕は手を出さないから  
自分の手で  
広げて見せて

ふっ

ふっ



はっ

はっ



本当に  
ほんの  
少しだけ



だだめ  
約束でしょ

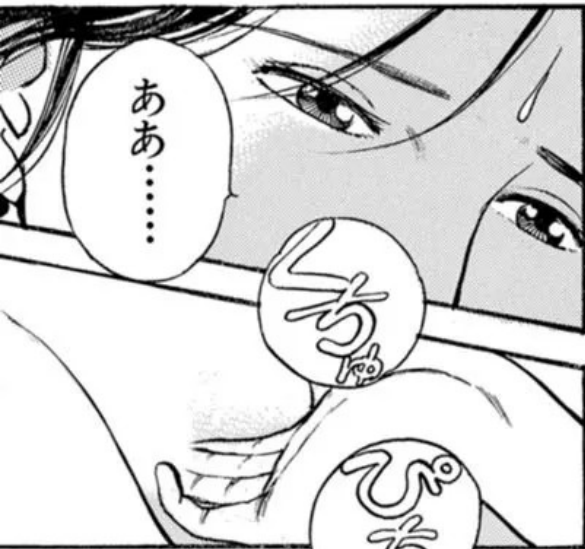


ほんの少し  
触るだけ  
なら………

ねっいいでしょ



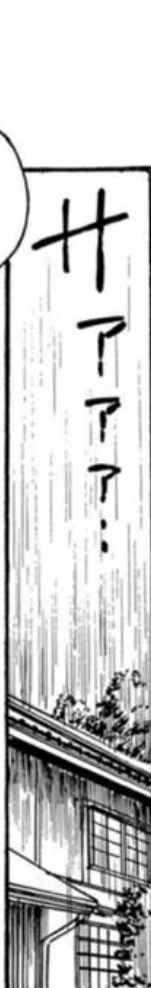
ああ  
そんなこと  
………



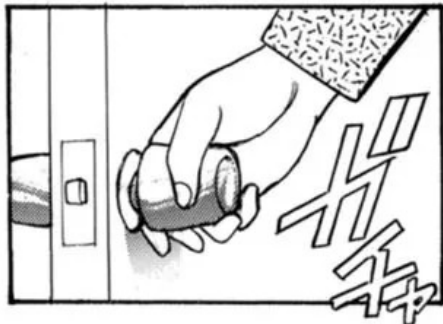




あああ









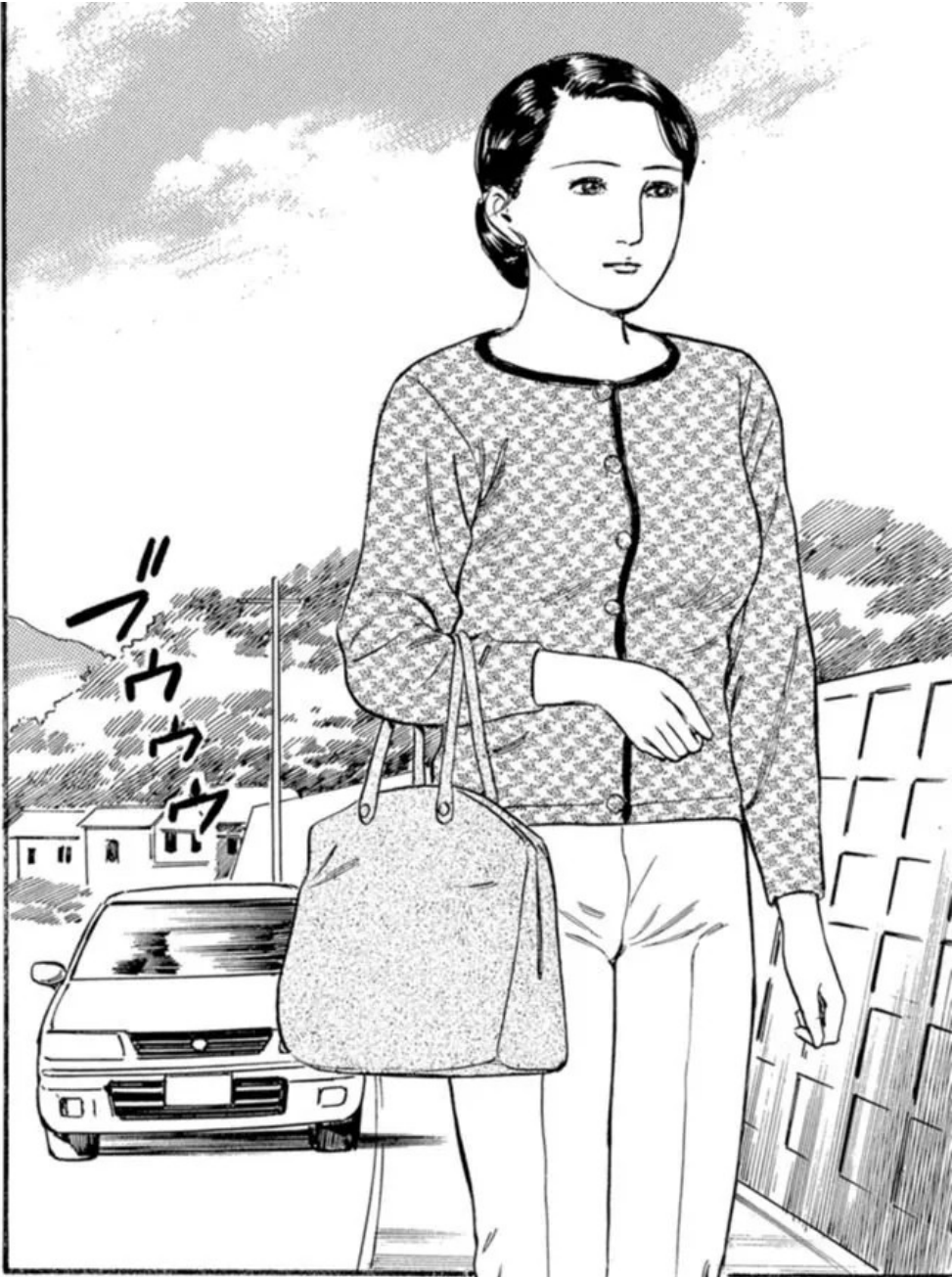
誘う人妻にのせられて

～淫らに咲き乱れる熟した肢体～

---

第2話







へええ  
おばちゃん  
教習所に  
通ってるんだ



あら  
智史くん



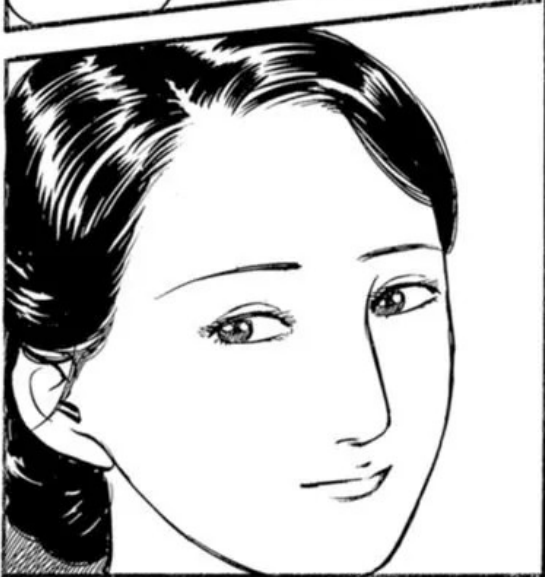
やっと仮免が  
取れたところよ

へええ  
そうなの



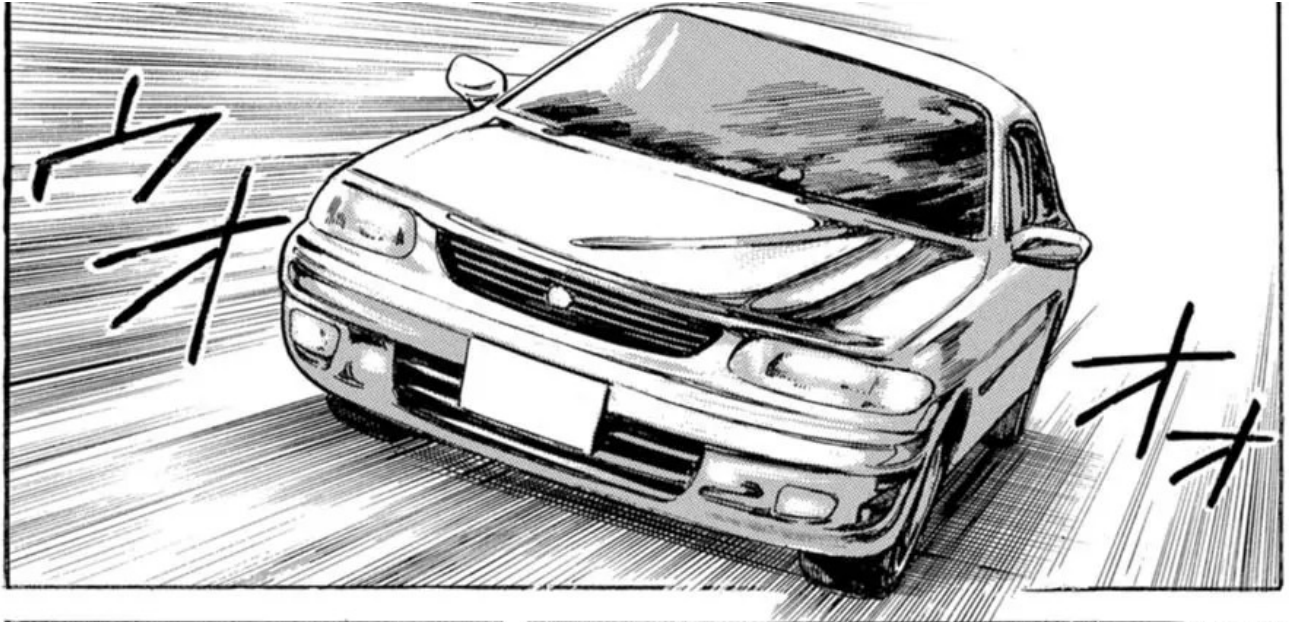
この辺じゃ  
自分で車を  
動かさないと  
どこにも  
行けないでしょ？

うちの主人も  
免許取れ取れって  
うるさいしね















智史くんは  
ずっとこの地元で  
暮らしていくの？

んっ？



うちの子は  
高校を卒業したら  
東京の方に  
出ていくと  
言ってるわ



うん  
そうかな



そうだな…  
確かに

刺激っていうのは  
あまり感じる  
ことはないよな



そんなもの  
求めれば  
どこにでも  
あるものだと  
思うんだけど

どう思う  
智史くん？



生意気に  
ここに居ても  
何も刺激がないとか  
言うのよ



こっちに  
おいでよ

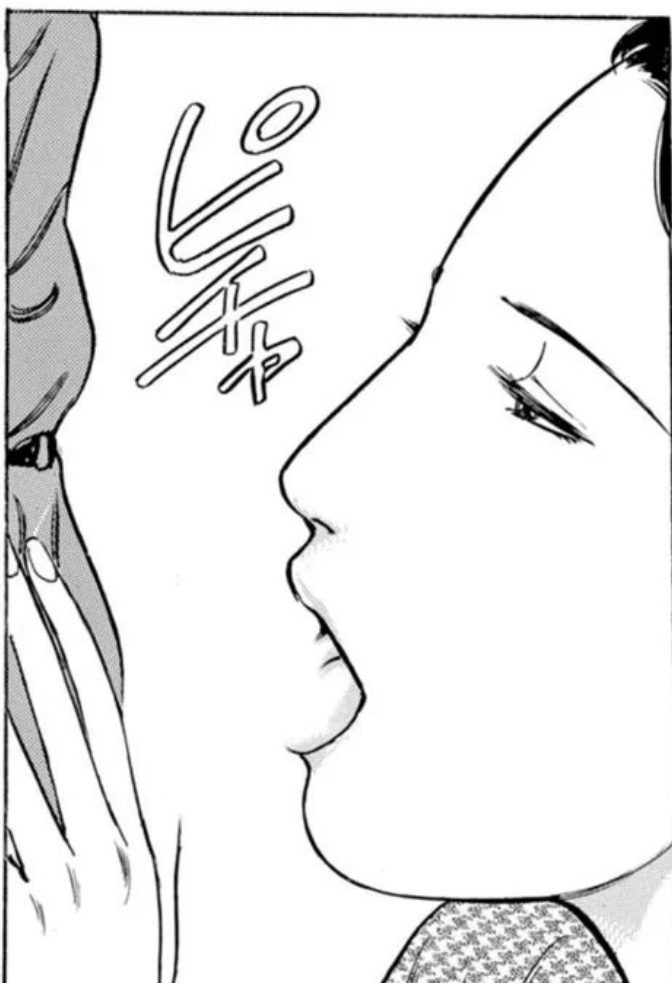
おばちゃんの  
お尻も  
ちよつとした  
刺激にならない  
かしら？



おっ  
おばちゃん



いいから  
いらっしやいよ



車の運転を  
させてくれた  
お礼よ



あっ

あっ



うっうん

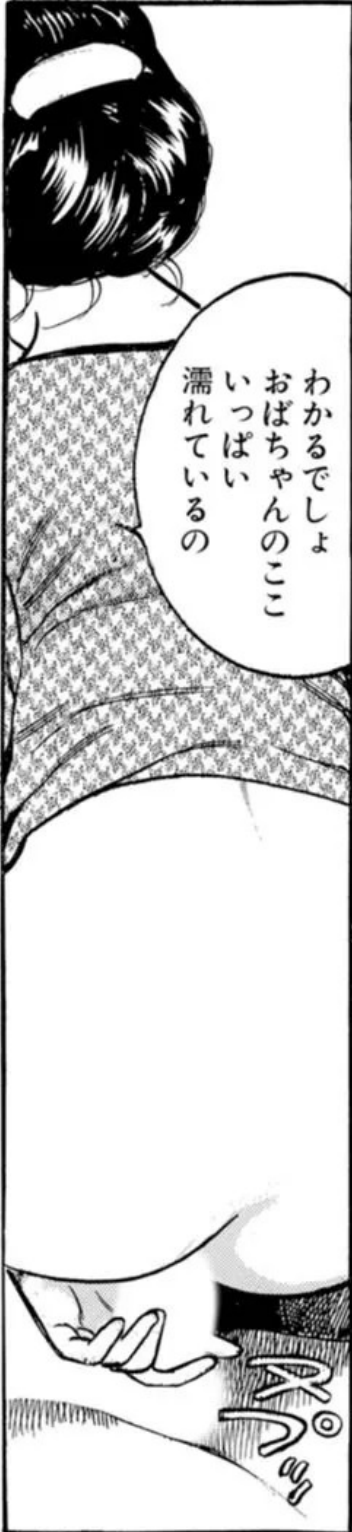
でももっと  
気持ちのいいところに  
挿入たいでしょ？



おばちゃん  
の口の中  
気持ちいい？



横になって

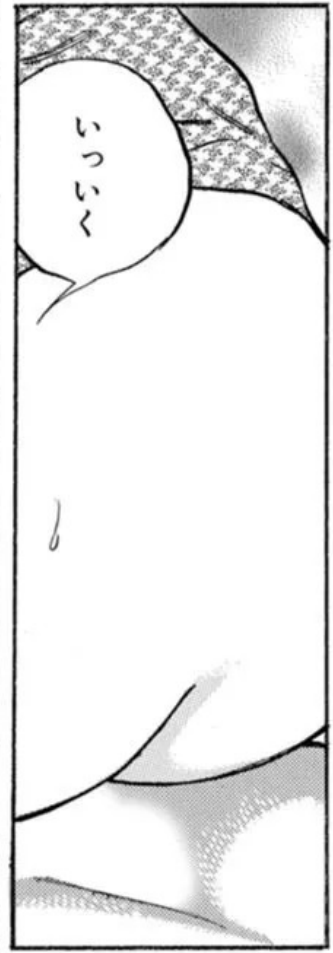


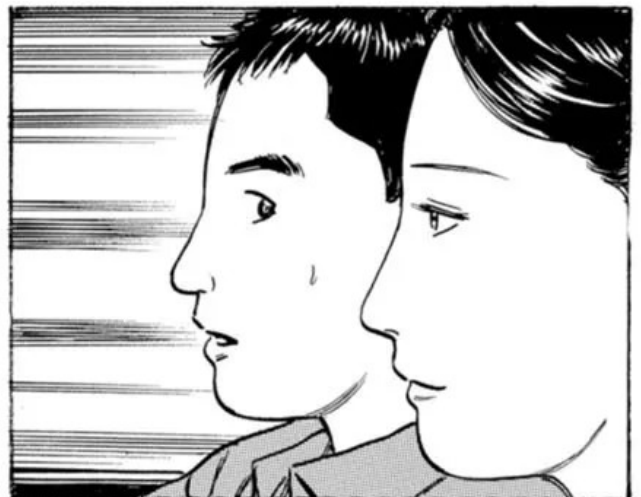
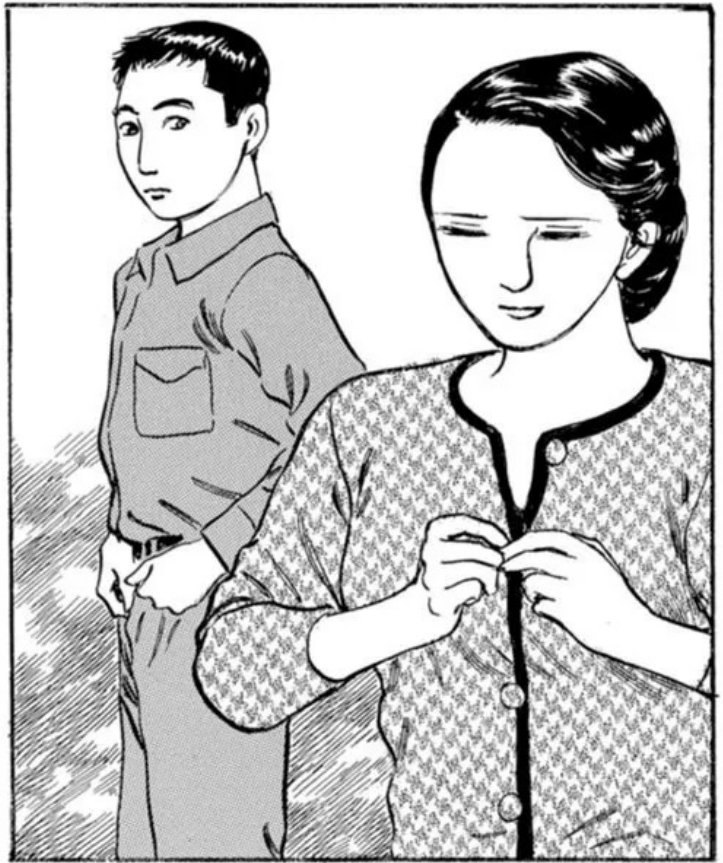
わかるでしょ  
おばちゃんのこと  
いっぱい  
濡れているの

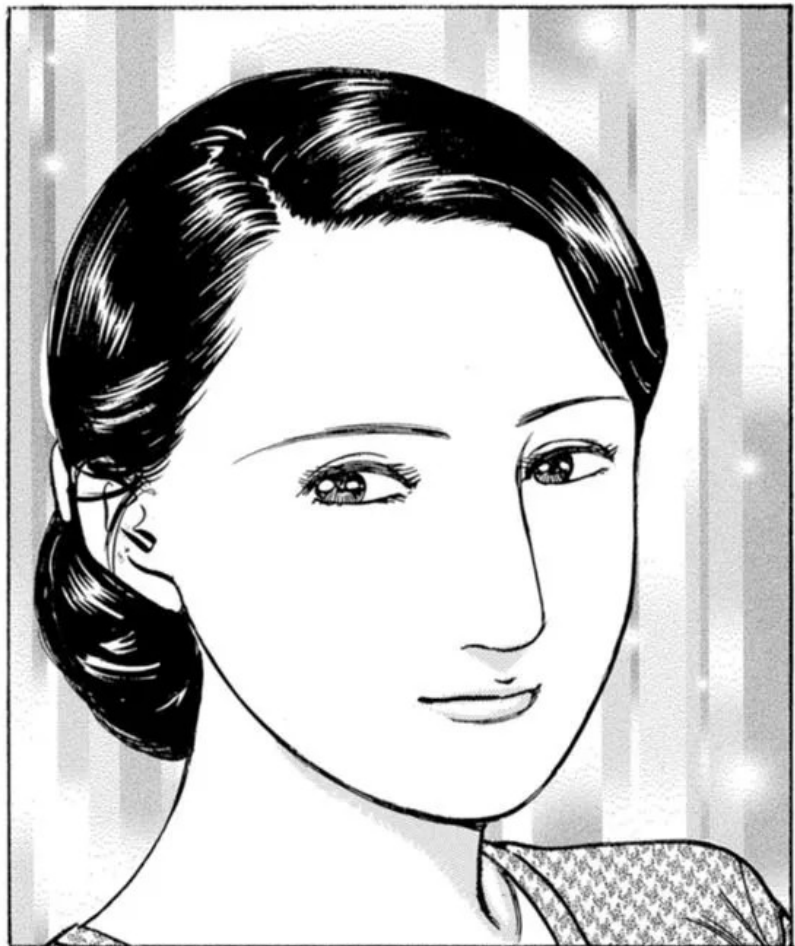


ごめんね  
こんな所で  
突然こんな真似…











おばちゃんの  
ここ  
そんなに  
見たかったの







おばちゃん  
人妻なんだから



他人の車は  
気をつけて  
乗らなくちゃ  
いけないでしょ?



誘う人妻にのせられて

～淫らに咲き乱れる熟した肢体～

---

第3話





ねえ  
あなた



飼いたいって？  
犬かなにかか



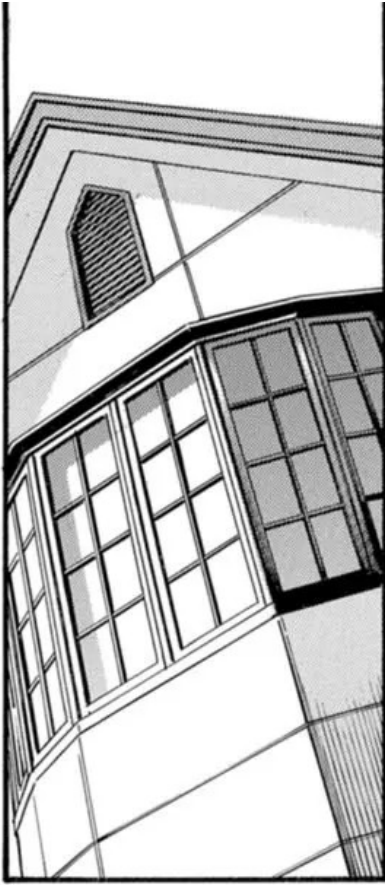
わたし  
飼いたいモノが  
あるんだけど



あなたも  
楽しめるモノよ















野間先生になら  
犬のように  
飼われても  
かまわないって  
言ってるの

どお  
かわいいでしょ



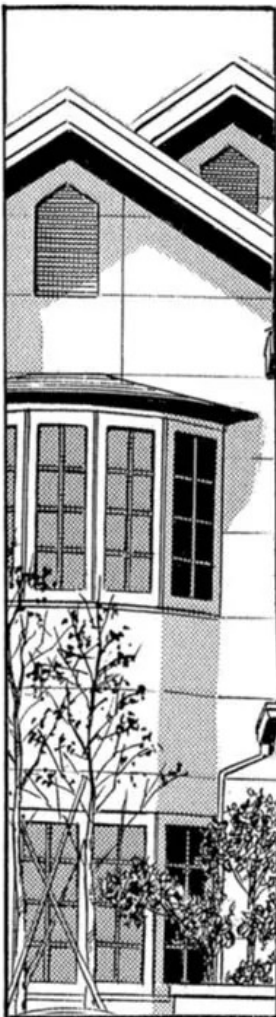
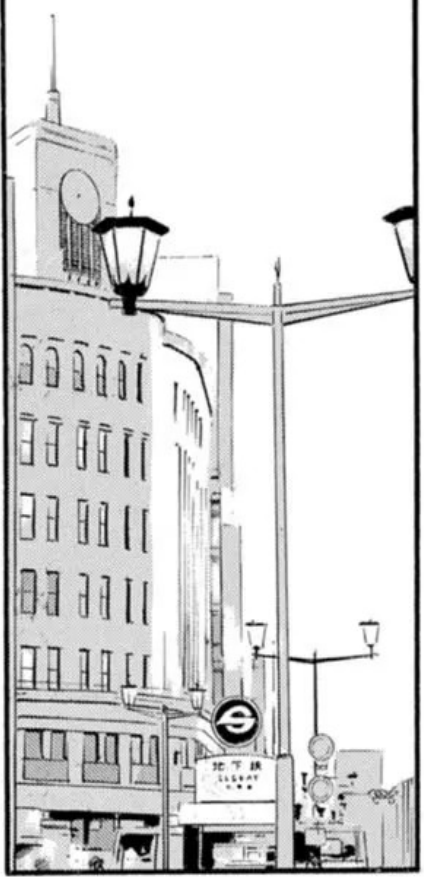
仕事の  
打ち合わせ  
なんだ  
ちよつと  
出てくる



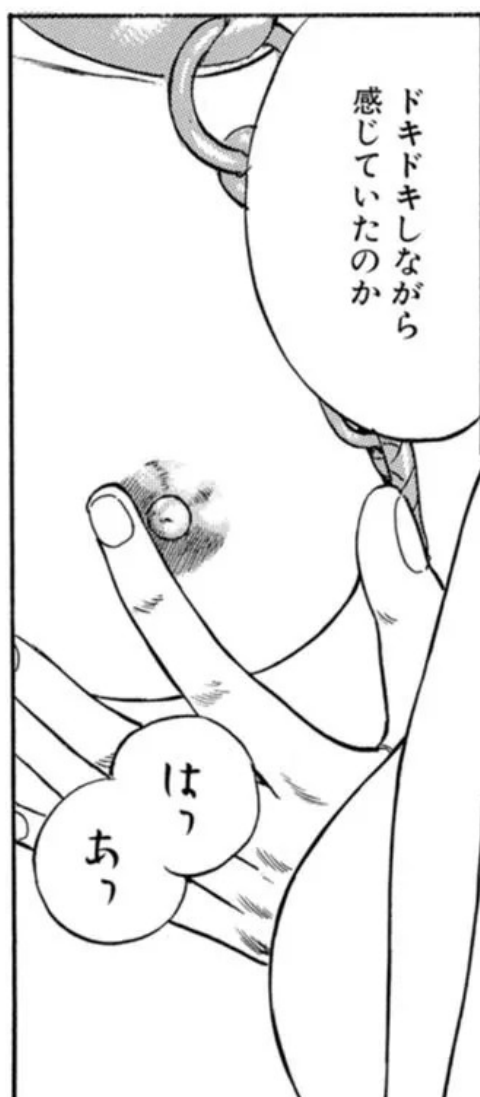
今まで君の  
おかしな趣味に色々  
つき合ってきたが  
今度ばかりは  
つき合いきれん  
かもな



読者からの反響  
でしてね









足を広げて  
よく見せて  
くれないか

さつきはあまり  
見ることが  
できなかったんだ



かわいいね



ほんとうに  
綺麗な色だ



ああ  
先生…





おっ奥様と  
ですか？

もう少し若い頃には  
静江と二人で  
こんなことをして  
楽しんだものだよ



信じられない  
かもしれないが  
あいつは  
ああ見えても  
Mなんだよ



ああ  
庭の木に縛りつけたり  
野外で放尿させたりとかね

させてたというか  
僕の方が  
彼女のプレイに  
引きずられていた  
んだが



この娘の調教の  
ためにも  
きみのMの姿を  
見せてやったら  
どうかと思っ  
てね



なにを  
話して  
いるの

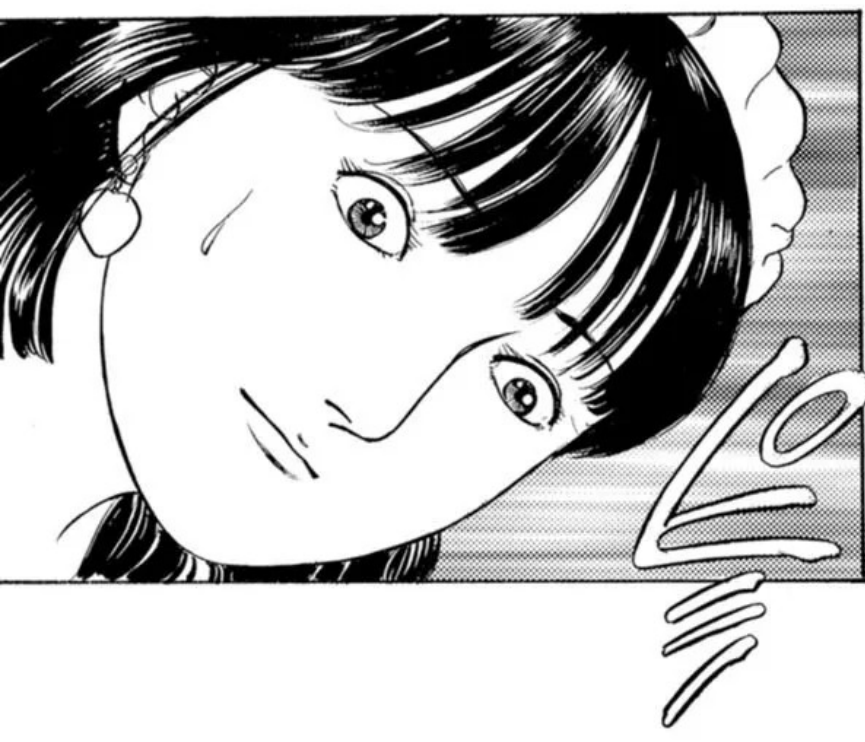


君も  
久しぶりに  
首輪で  
つながれて  
みたいんじや  
ないのか



.....  
あなたが  
そうしたいのなら









いいんですか?

奥様





そうかね

ハードで  
エネルギッシュな  
野間晴彦が  
帰ってきましたね



最高ですよ先生  
今回の作品は



なんだか  
昔の感性が  
甦<sup>よみがえ</sup>ってるんだな  
この頃

先生  
ねえ

綺麗でしょ  
奥様のお尻に  
花を飾って  
さしあげたんです

そうだね  
これからも  
綾の色々なアイデアで  
僕らを楽しませておくれ

*END*

# 誘う人妻にのせられて ～淫らに咲き乱れる熟した肢体～

鶴永いくお

© 鶴永いくお / 大都社 / 秋水社

▼秋水社の作品が1話無料で読める！

<https://www.shusuisha.com/>

▼著者へのお便り、作品に対するご感想は

上記サイト内お問い合わせページか

下記住所まで

〒112-0004

東京都文京区後楽 2-3-25 金子ビル 4F

※本作品の無断転載・複製・複写・上映（インターネット上を含む）を禁じます。  
※本書を第三者に依頼しスキャンや電子化することは一部の例外を除いて  
著作権法上禁じられています。